

一般質問

(4〜7ページ上段まで)

市議会定例会では、提出された議案を審議するほかに、一般質問として、各議員が市政全般に対して質問することができます。今回は21人43件の一般質問がありました。

(他はその他の質問)

休日の窓口開設 実施の考えは

早期実施に向け 実施範囲などを検討していく

柴野 和夫議員 市庁舎等において、休日窓口の開設を求める声がある。

市民への行政サービスの提供をより効果的にするために、こうした市民が求めている取組みを考える必要があると思う。そこで、実施に向けてどのように考えているか聞きたい。市長 市民にとって、より便利な市役所を目指し、休日の窓口開設などについて、現在関係課による検討を進めているところである。

今後、早期実施に向け、効果的なサービスができるよう、実施範囲などを検討していく。



他 四季を通じて楽しめる「府中市郷土の森」づくりについて●分倍河原駅南側に恒久的な自転車・バイクの駐輪場の設置について●分倍河原駅における朝ラッシュ時の駅構内の混雑緩和に向けて

市制50周年記念

NHKのご自慢を招く考えは 記念すべき年なので引き続き要望していきたい

宮本 武蔵議員 我がまち府中は、武蔵の国の国府が置かれ、江戸時代には、甲州街道の宿場町として、活気があふれていたと言われている。今年には、江戸開府400年、そして来年は、市制50周年と、歴史的な節目が続いていく。こうした時期に、歴史ある効果があると考え。そこで、

本市を多くの人に知ってもらうためにも、全国放送されているNHKのご自慢を本市に招くことは、大きな意味があると思う。そして、このことは、市長が進めている観光の面から、また本市を全国に発信するという面からも非常に望ましいと考えている。

市制50周年という記念すべき年でもあるので、引き続き要望していきたいと考えている。

外郭団体の活性化 職員接遇の対応は

人事等の改善計画の作成を協議していきたい

村井 浩議員 シルバー人材センターの職員の接遇態度が悪いとの声を耳にした。小さな組織は、時として、

一人の職員が長い間、同じ仕事をすることがあるが、各人が自助努力をしなければ職場の活性化は図れないと思う。外郭団体の職員も市の職員同様、市民に対して市長が唱える真心がこもった対応が必要である。そこで、職員の接遇や業務などのチェック体制を充実させるための議論が理事会で行われたことがあるか聞きたい。福祉保健部長 年に数回程度、理事会で接遇や執務態度についての議論、話題が話し合われ、相応の対応をとってきて

学校教育プラン21

具体的な推進計画はあるか 平成15年度中に 事業実施計画を作成したい

小野寺 淳議員 ここで、府中市学校教育プラン21の推進計画がまとめられた。これは、中長期的にわたる計画で、これまでの諸課題が全て網羅されているので、やり残しのないよう進める必要がある。

このプランが絵にかいた餅にならないよう、諸事業の実施のタイミングを明確にし、施設の整備、人の配置や財源の確保を伴った実行性のある計画とすべきと考える。

今後、教育委員会では、具体的な実施計画に取り組み考えがあるか聞きたい。

教育長 この教育プラン21推進計画は、地方分権と規制緩和が進む中、新たな教育指針となるよう、教育委員会が総合計画に合わせて策定したものである。

平成15年度には、具体的な日程や予算を明確にした事業実施計画を作成したい。

他 契約制度の見直し後の現況は

市庁舎の新築 建設基金を設ける考えは

建替えに備えた 財源確保が必要と考える

皆木 辰雄議員 市庁舎は、現在の庁舎が建設されてから

久しく、構造が古いうえ老朽化も進み、建替えを考える時期であると思う。本市も、人口23万規模にふさわしい庁舎が必要と思うが、昨今の財政状況からは、厳しいことも事実である。そこで、市庁舎建設基金という形をとり、庁舎の新築に備えるべきと考えるがどうか。財務部長 現在の市庁舎は、西庁舎に東庁舎と北庁舎を増築している。更に、第二庁舎に一部業務を分けていくため、窓口は分散し、市民には、大変不便を掛けている。



▲昭和34年に建設された西庁舎

新総合計画と連携した 記念事業とすることが重要

未来へ元気が出る事業とする考えは

村崎 啓二議員 先般、2004年度の市制施行50周年記念事業は、次の50年に向けたスタートの側面を持つと思うが、未来に向かい元気の出る事業とする考えはあるか。

また、市民と一体となった事業とするため、広く市民からのアイデアを取り入れたい。

市長 市の歴史の中で大きな節目となるこの

他 府中市民墓地の早期建設に向け



また、市民と一体となった事業とするため、広く市民からのアイデアを取り入れたい。